

2019 年度小学校教員資格認定試験  
第 2 次試験に代わる  
「教科及び教職に関する専門性」等を評価する措置

レポート課題 国 語

問 1 文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』（平成 29 年 7 月）「第 1 章 総説」「2 国語科の改訂の趣旨及び要点」の「（2） 学習内容の改善・充実」の「①語彙指導の改善・充実」では、「中央教育審議会答申において、『小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある』と指摘されているように、語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。」としている。

また、「小学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月文部科学省告示）の「第 2 章 第 1 節 国語」の〔第 1 学年及び第 2 学年〕の〔知識及び技能〕においては、「（1） 言葉の特徴や使い方に関する事項」での語彙の指導について以下のように示されている。

オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

「小学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月文部科学省告示）の「第 2 章 第 1 節 国語」の〔第 1 学年及び第 2 学年〕の〔思考力、判断力、表現力等〕の「B 書くこと」（1）において示された事項を指導するために、（2）で示された言語活動例である「イ 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動」を行いたい。この言語活動を通して、語彙の指導を行うとすれば、あなたはどのような指導をするか書きなさい。（文字数は、句読点・記号も含めて 600 字以内とし、500 字を下回らないこと。また、解答欄への記述に際し、段落を設けずに書くこと。）

問2 「小学校学習指導要領」（平成29年3月文部科学省告示）の「第2章 第1節 国語」の〔第5学年及び第6学年〕の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」（1）においては、以下の指導事項が示されている。

- ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

この二つの指導事項を踏まえ、(2)で示された言語活動例「イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動」を行いたい。そこで、「地域の魅力を紹介しよう」という具体的テーマを設定して学習活動を進めることにした。あなたならどのような授業内容を考え、どのような指導を行うか、書きなさい。（文字数は、句読点・記号も含めて600字以内とし、500字を下回らないこと。また、解答欄への記述に際し、段落を設けずに書くこと。）